記者発表資料

令和８年７月７日
東北地方整備局
北上川下流河川事務所

鞍坪（くらつぼ）排水機場の故障について（第３報）

故障していた鞍坪排水機場について、本日、応急措置を完了し、排水機能が回復しましたのでお知らせします。
なお、現地に配置していた排水ポンプ車は一旦撤収しますが、万が一、排水機場に再び故障が発生した場合にも対応できるよう、引き続き備えます。
今後、状況に変化が生じた場合は、改めてお知らせ致します。

※下線部：前報からの更新箇所。

１．鞍坪排水機場の概要

所　在　地：宮城県東松島市西福田字長峰地内
ポンプ台数：２台
総 排 水 量：毎秒 20m^3（毎秒 10m^3× ２台）

２．故障発生日時

令和８年６月 29 日(月) １６時頃

３．故障内容

減速機（エンジンの動力をポンプに伝える機械）の動作不良によりポンプ設備２台のうち１台が運転できない状況。現時点においては、減速機に内蔵されているクラッチが故障していたものと推察されました。なお、詳細な不具合の内容は分解整備が必要です。

４．故障発生以前の運転状況

６月１日～６月５日の年点検では異常はなく、また、６月 21 日～24 日での出水での排水運転においても問題はありませんでしたが、上記の故障が発生したものです。

５．応急措置の内容及び本復旧の目処

通常は、エンジンを始動した後にクラッチを油圧で押し入れることで排水ポンプが回転しますが、応急措置として、クラッチを強制的に押し付けた状態でエンジンを始動させることで、排水機能が回復しました（別紙参照）。
なお、現地に配置していた排水ポンプ車は一旦撤収しますが、万が一、排水機場に再び故障が発生した場合にも対応できるよう、引き続き備えます。
また、本復旧には時間を要するため、台風シーズン終了後に減速機を工場に搬出し、分解整備する予定です。

発表記者会：石巻記者クラブ、古川記者クラブ

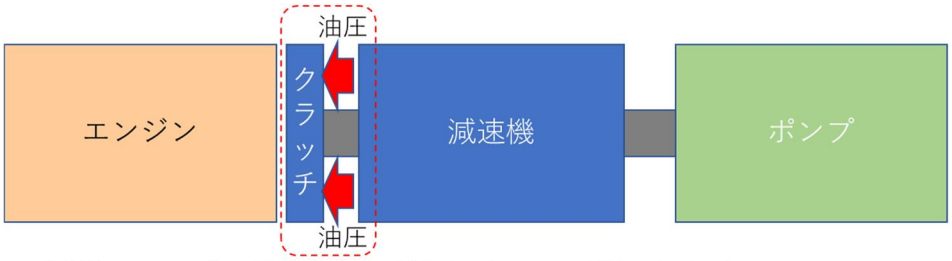
国土交通省北上川下流河川事務所　　お問い合わせ
（住所）石巻市蛇田字新下沼８０　（電話）０２２５－９５－６５０４（施設管理課直通）

技術副所長　土岐（ときのりひこ） 範彦　（内線２０５）
管理課長　髙橋（たかはしのぶただ） 伸忠　（内線３３１）
施設管理課長　遊佐（ゆさけんたろう） 謙太郎　（内線３９１）

別紙

（参考）実施した応急措置について

通常は、エンジンを始動した後にクラッチを油圧で押し入れることで排水ポンプが回転しますが、この油圧でクラッチを押し入れる部分が故障したと推察されるため、クラッチを強制的に押し付けた状態でエンジンを始動させる応急措置を行いました。



通常：エンジン始動後に、油圧でクラッチ押し入れる。
故障内容：油圧でクラッチを押し入れる部分が故障と推察される（赤点線部）。



ボルトで強制的に常時押し込み

応急措置：強制的にクラッチを常時接続した状態とする。